

ユビキタスからホモユビキタスへ (4)

ユビキタスネットの普及によって新たなコミュニティが構築されます。現代人は、特別に伝えたいことがあるわけではないけれどもいつも誰かとつながっていたい。でも、自分の時間を邪魔されたくないし他人の時間も邪魔したくない。といったように「個」に向かっているということができます。その中でこのような要求に対応した「あっさりとしてコミュニティ」を形成していきませんが、一方でこだわりのある分野では徹底的にこだわるといったコミュニティの細分化が進んでいくものと考えられます。はじめの段階では、いつでも誰でも必要な情報を手に入れられるのがインターネットであったのですが、コミュニティが細分化することによって、ほとんどの人は知らない、そのコミュニティに入らないと手に入らないような情報に価値を見出しています。情報を自由に提供することの出来るインターネットでは、自分の知らないことを知っている素人に簡単にアクセスできる時代となり、生活者の消費動向も変わってきています。これまでは商品の評価は専門の機関で行われ発表されてきたものが、インターネット上に情報発信することによってあっという間に広がり、商品の売り上げにも影響を与えるようになってきています（ただし、簡単に情報発信できるということは、簡単に個人や企業を攻撃できるということで、非常に怖い面もあります）。ネットワーク上のコミュニティは情報を流通させるばかりでなく、ネットワークの高速化によってサーバ側での処理を各個人の所有する機器に分散して行う可能性があります。つまり、これまではスーパーコンピュータで行っていた計算処理をネットワークでつながれた個人が所有するものすごい数のパソコンで分散処理しようとするもので、実際ネットワークや計算処理、情報の記憶を分散共有化しようとするコミュニティを形成する動きがあります。また、そのコミュニティ内でしか通用しない通貨を採用するなど仮想国家の構築になりつつあります。コミュニティ内での通貨は、情報の受け渡しに対して支払われたり、情報の提供、ボランティア的活動等に対して支払われるものです。しかし、ネットワーク上で携帯型情報機器を使ってその場で取引を完了しようとする場合に便利で、通常の通過までもがそのひとつになる可能性もあります。自己資産（コンピュータ資産など）、情報のネットワーク上での流通、ネットワーク上の専用通貨など数多くのサービスの変化によって「ユビキタスネット」は生活と密着した存在となり、生活スタイルや社会の新しい常識が生まれてきます。

また、ユビキタスネットの時代には自然なマンマシンインターフェース必要とされます。生活の中にネットワークが溶け込むわけですから、あらたまってコンピュータを操作するといったインタフェースではなく、携帯電話のテンキーの延長、ゲーム機のコントローラや音声入力、音声回答などが上げられますが、究極は意識せずに考えた思考がそのままデータ入力、機器操作となり、回答については、状況を判断した上で抵抗無く情報を取り込めるものとなります。既に携帯電話では、電話をかけるのと同じ感覚でメールを利用し、電話を受けるのと同じ感覚でメールを受けたり、情報を取り出したりしています。使っている人にはインターネットとの接続という意識は無いでしょう。ユビキタスネットの構築によってこれまでの国家の枠組みでは考えられない空間が各個人に広がり、これまでの常識では考えられない仮想コミュニティが構築され、意識しないでそのコミュニティの中で生活するようになっていくことが考えられています。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 8月27日号

特集 ムーアの法則はもう頼らない

→半導体産業には「ムーアの法則（18ヶ月で半導体の集積度が2倍になる）」というものがこれまであり発展してきたが、ここまできて十分な性能向上が期待できなくなり、各半導体メーカーは汎用品から技術の組み合わせで勝負するものへと変換しつつある。

解説 2.4GHzか5GHzか 無線LANの本命は誰に？

→無線LANは普及期を向かえ、これまでの11Mbpsのもの以外に54Mbpsのもの、20Mbpsのものなどの規格が策定され乱立時代を迎える。さらにその間を縫って両方に対応する「コンボチップ」が登場する。

○日経バイト 9月号

特集 サーバに不正侵入されたら

→特にIISを使ったサーバのセキュリティホールを狙った不正アクセスが増えている。もし万が一侵入されたらシステムを復旧させるか。復旧の仕方と、不正侵入を発見するソフトについて。

特集 安くて簡単ストリーム配信ガイド

→ADSLなどの高速回線が使えるようになって動画を配信する事業者が増えてきたが、個人でも動画配信は可能。動画配信の基礎知識からそのやり方の紹介。

評価 低価格化進むGビットEthernet

→既存のツイストペアケーブルを使ったGビットLANが身近になってきた。1万円台からボードはあるが、大規模ネットワークへの対応で価格、機能に違いがある。

○N+I MAGAZINE 9月号

特集 ネットワークアップグレード

→接続する端末が増え、大容量のデータを取り扱うようになるとネットワークへの負担は増大する。どのようにネットワークをアップグレードするか、LAN、サーバ、WANに段階を分けてその手法の紹介。

特集 Webアクセラレータ徹底理解

→せっかくアクセスしてくれたユーザに対してストレスなくサービスを提供するためのWebアクセラレータ。その基礎知識から実際の製品紹介、構築ポイントまで。

特集 入門・100Mスイッチ

→現在最も一般的な100Mスイッチ。その仕組みから内部構造記までを理解し、選ぶポイントを紹介する。

○ASCII 9月号

特集 WindowsXP 徹底探求

→11月16日に発売となるWindowsXP。98系とNT系が一本化するある意味完成形であるWindowsとなるが、新インターフェースの使い勝手からキーテクノロジーの徹底解説を通じて新OSの持つ意味を徹底探求する。

特集 記録型DVDを買え

→DVD-R、DVD-RW、DVD-RAMと登場してきた記録型DVD。
それぞれの規格を技術的に比較しこれからの購入の参考にする。

○DOS/V magazine 9月15日号

特集 自作の本命! mPGA478対応Pentium4マザー

→これまでの423ピンであったPentium4のソケットに対して478ピンのmPGA478となったマザーボードが発売され、3GHzを見据えたグレードアップ可能となっている。最新CPU、チップ、マザーボードの環境を解説。

特集 書き換え型DVDドライブ大全

→価格的には普及期に入った書き換え型DVDについて、乱立する規格、ドライブとメディアの互換性、複雑な設定など問題もある。実際の各規格の比較と具体的な作業手順とその互換性を探る。

特集 インターネット24時間必修ツール

→普及期に入ったインターネット常時接続環境でよりインターネットを利用するための優れたツールについてその設定方法から使い方までを探る。